

山岳部 尻滑りロングコースを満喫した春香山。 (5月8日(土))

新生岩東山岳部の今年の第2段は、恒例の春香山です。前回の塩谷丸山の時もそうでしたが、今年は前後にぐずついた天気であっても何故か山行日には晴れるのです。晴れ男がいます。黄砂で景色は多少霞んでいましたが、雨にあたることもなくマスク山行を楽しみました。登山口で記念写真を撮って出発。途中、IV、IVカ、ニリツ、カクリ、イルイワなどの花の名を確認し、分岐点では読図で現在地を確認しながら高度を上げていきます。群生はまだ先のようにでしたが、ワササキも数株可愛らしい姿を見せてくれました。土場からは残雪が見られ、軽いルートファインディングを経て銀嶺荘到着。コロナ渦で管理人不在、入口も鍵がかかっていた。川を渡り、核心の山頂へと向かいます。キックステップで残雪を直登、会話の途切れることなかった新入部員の体力は、まだまだ余裕を感じさせてくれました。昼食後、山頂直下のロングコースで尻滑りを満喫。この時期ならではの楽しみを味わいました。下山も快調に歩き、総山行時間5時間の山行も無事終了。ひとつひとつの経験を通じて、新入部員達は日々逞しくなっていくことでしょう。



出発前に記念写真



ワササキ



マスクして登山



春香山山頂



ロングコース尻滑り



注意して川を横切ります



管理人は不在だった銀嶺荘